



もう立春・・・この春はドラマチックな展開が期待できます。思いがけなくドキドキすることがたくさんありそうです。ふだん控えめにしているなら、今月はご主人に対して少しでも積極的に頑張ってみてください。その意外性にご主人はますますあなたに引かれそうです。なんとなくイライラしているときは、かかとを3回踏みならして。悪い気が逃げていきます...

日本三名園、特別名勝「兼六園」

慶長6年(1601)、徳川秀忠の娘・珠姫が輿入れした際、江戸から付いてきた300人のお供のために長屋が設けられ、その場所は江戸町と呼ばれました。珠姫が没したのち長屋は取り壊されます。万治2年(1659)、その跡地に建築や営繕を担当する役所・作事所が移築されました。

兼六園の築庭は金沢城に面する傾斜地の部分から始まりました。延宝4年(1676)、5代藩主・綱紀が作事所を再び城内へ戻して自己の別荘を建て、その周りを庭園化したのが兼六園作庭の始期だと言われています。

一般的には「蓮池庭(れんちてい)」と呼ばれていますが、築庭された頃の呼称は「蓮池の上御露地(はすいけのうえおろじ)」と呼ばれ、来藩した客人や重臣たちの接待、あるいは観楓などの宴を楽しむ清遊の場として活用されました。歴代藩主や老臣に深く愛された蓮池庭ですが、宝暦9年(1759)の大火で一部が焼失し、その後、11代藩主・治脩によって、安永3年(1774)に翠滝と夕顔亭、同年には内橋亭が造営されました。蓮池庭上部にある平坦な地を「千歳台」と呼びます。藩主によってその使い方は様々で、千歳台はめまぐるしい変遷を遂げました。藩政時代も半ばを過ぎた寛政4年(1792)、治脩は藩校「明倫堂(めいりんどう)」と「経武館(けいぶかん)」を創建します。治脩の後を継ぎ



兼六園の雪吊り撮影:Jプレス110110

気まぐれ飛行船

『五町田の変貌』気になるシリーズ -その68-

昨年秋、ある夕暮れどきでした。あの田舎道が・・・コンビニと信号の明かりで煌々と照らし出された五町田交差点を、新設された右折車線から長坂方面へ曲がりながら・・・思わず頬笑んでしまいました。

長坂界隈から外れ、高根町との堺であるところの西町食堂とこの五町田が、なんか田舎を彷彿させる響きで、とても気になる存在だったのです。すぐ近くに中央道の長坂IC、相次ぐショッピングセンター、ホームセンター、コンビニの開店を経たのち、とうとう「五町田の辻」も昨年の秋に拡張工事が完了し地方幹線道路の主要交差点に変貌したという訳です。愛着の意を込めて少々オーバーに表現しました。この交差点は長坂警察署の坂下、ガードがある三差路を起点として、国道141号線旧道の箕輪交差点を終点とする、延長約6kmの正式名称「山梨県道32号長坂高根線」が東西方向。須玉町・若神子上交差点が起点として、八ヶ岳高原大橋入口交差点を終点とする、延長約12.5kmの正式名称「山梨県道28号北杜八ヶ岳公園線」が南北方向で交差しています。

これを機に、県道の32号と28号を覚えましょう。そして随分と走り易く便利になりました。

長坂ICから大泉方面への左折、実は逆バンクになっていて、対向車線の先頭にいると膨らんで曲がって来る大型車が気になっていた方も結構いたのではありませんか。(かとう)



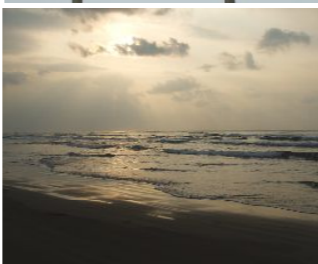
12代藩主となった斉広は先代が開校した藩校を移転させ、文政5年(1822)、その跡地に自己の隠居所「竹沢御殿」を造営。同年、斉広の依頼に応じた奥州白河藩主松平定信によって「兼六園」と命名されました。

雪の安房峠を越えて

1997年12月6日、安房峠道路(長野県・中ノ湯IC-岐阜県・平湯IC)が開通し、雪の安房峠を越えて冬も岐阜県へ抜けられる。中央高速長坂ICから松本ICまで71km(約1時間)、松本市と福井市を結ぶ国道158号線を梓川に沿って上って行き、上高地へ向かう釜トンネルの信号を鋭角に左に曲がるとすぐに安房峠道路。安房トンネルを抜けて岐阜県の平湯温泉まで115km(約2時間)で日帰り温泉も可能だ。平湯から観光名所飛騨高山まで35km(約50分)、更に合掌造り集落白川郷まで35km(約50分)、世界遺産はもう目の前。

もっと足を伸ばして、能登半島を走る☆

能登有料道路の今浜ICを降りると、そこは冬の日本海・・・日本で唯一、一般の自動車やバスでも砂浜の波打ち際を走ることができる道路、「千里浜なぎさドライブウェイ」は石川県羽咋郡宝達志水町今浜から、同県羽咋市千里浜町に至る延長約8kmの観光道路として知られている。日本海に沈む夕日を眺めながら、落日のなぎさをドライブ...



春の始まり「蔵開き」

北杜市白州町の台ヶ原は東西9町半(約1km)、甲州街道40番目の宿場町。かつての街道筋がそのまま国道として拡張されなかったのが良かったのか、当時の賑わいをうかがわせる建造物は数少ないものの、ところどころに小さな宿場町の雰囲気を感じることができる。2月11日(土)より2月19日(日)まで、台ヶ原宿のほぼ中央に位置する醸造元・山梨銘醸「七賢」で、春の訪れを告げる蔵開き「第34回七賢酒蔵開放」が行われる。名水を醸して300年の歴史を誇る、醸造元「七賢」の酒蔵見学、明治十三年に明治天皇がお使いになった行在所(一夜限りの御所)、骨董展や蔵開きクラフト展も気になるが、なんと言っても花より団子、甘酒のサービス(無料)と約30種類のきき酒(お一人様700円)がお勧め。七賢の「蔵開き」と共に・・・春は少しずつ近づいてくる。

2012年第34回七賢酒蔵開放のご案内

日時:2012年2月11日(土)~2月19日 午前9時~午後3時30分  
場所:山梨県北杜市白州町台ヶ原2283 山梨銘醸株式会社  
※長坂IC・キララの信号を下ると近道です。

☆今年も八ヶ岳ピースワーカーズを応援しよう。

「復興」って何・・・?国がどう考えているかわからないけれど、私たちはそれが「もとに戻すこと」とは思わない。《支援金募金のお願い》

郵便振替口座 番号 00250-0-124628

名称「八ヶ岳ピースワーカーズ」

じゃがいも通信は八ヶ岳ピースワーカーズを応援します。



冬のプリマ♪(パノラマ市場)

昨年中は、ご愛顧ありがとうございました。本年も皆さまに元気をお届けできるようにパノラマ市場生産者一同頑張ります。♪

冬のパノラマ市場には、冬野菜、漬物、クラフト作品などが並んでいます。農家の漬物の試食が並ぶ店頭で、夏とはちがうノンビリとした雰囲気を楽しむながらお買い物をして下さい。

☆冬のフリーマーケット開催中

パノラマ市場内の窓辺の陽だまりでフリーマーケットを開催中です。何か掘り出し物が見つかるかも・・・

☆オバちゃんの会「冬カフェ」

ほうとう、お寿司、お菓子、蒟蒻、干し芋、お惣菜など日替わりの手作りメニューをご用意しています。今日のメニューは?お楽しみ・・・

☆オバちゃんクッキング

冬がやってきました。寒いから炬燵から出るのも嫌、家から出るのも嫌では、もったいない。「おばちゃんの会」料理教室で農家のおばちゃんたちと料理しませんか?2月14日の火曜日、寒い時期にあったか〜く家庭料理、「地粉から作るほうとう」が予定されています。

除雪車出動〜☆

1月20日、大泉は雪の朝を迎えた。積雪20cmを超えていて、除雪車が出動することになった。が・・・しかし、除雪Aチーム2名が東京へ出張していて、今日の除雪作業は、経験の浅い二人、にわか仕立てのチームB。「チェーン始めて見ました。裏と表があるんですね?」などと試行錯誤しながら・・・いざ出動☆。標高の高い方から低い方へ、定住者から別荘へと、除雪作業には優先順位が決められている。動きの悪い除雪車を動かす、ジープの複雑なギアを入れ替えながら、チームBはなんとか無事に除雪作業を終えようとしていた。その時突然バックギアが抜けなくなり、除雪車が後ろ向きに路肩を登りエンストして止まった。今度は前進ギアが入らなくなり、ニュートラルで坂を下り路肩に寄せて、万事休す★携帯電話で救助要請をした。お疲れ様・・・。

編集後記

昨夜降った雪も止み、今日の八ヶ岳は快晴。雪景色の庭で、三つ葉ツツジの花芽が膨らみ始めた。1月21日、石垣島の最高気温は25.3℃と夏日、日本一早い田植えが行われた。もうすぐ立春・・・寒さはまだまだ続くと思うけれど、陽の光の中に春を感じる。じゃがいも通信編集長

